

一般質問の質問者順番と質問事項

(平成31年 第1回定例会)

質問順位	6	8番議員	河野保久
質問事項1	今後の認知症対策は		
質問の要旨	<p>高齢社会の中、認知症は年々増加の一途をたどっている。今後の対策をしっかりと構築していくことは重要課題と考え、2期目の任期最後の一般質問として質す。</p>		
具体的な質問 及び 質問の相手	<p>(1) 認知症の人は年々増加していると考えられるが、町の実態、認識を示せ</p> <p>(2) 平成30年度に町が行っている施策の実績、評価及び反省点を示せ ア 認知症サポーター養成講座 イ 認知症サポーターステップアップ講座 ウ 認知症声かけ訓練 エ 認知症地域支援ケア向上事業（地域支援推進員の活動も含めて） オ 認知症カフェと町の運営協力体制 カ 見守りネットワーク</p> <p>(3) 認知症と思われるひとり暮らしの世帯（19人）への対応はどうしているのか</p> <p>(4) 今後に向けて、次のような施策等を検討し、実施できないか ア 近隣市町との対策協議会の立上げ イ 声かけ訓練の新しい展開（捜索訓練の実施、または広い地域での声かけ訓練等）</p>		<p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長・教育長</p> <p>町長</p> <p>町長</p>

一般質問の質問者順番と質問事項

(平成31年 第1回定例会)

質問順位	6 8 番 議員 河野保久	
質問事項2	子どもの育み運動の充実を	
質問の要旨	子どもは地域の「たからもの」とあるという認識のもと、少子化の時代であるからこそ、子どもの育み運動の充実を行うことが必須と考え、町の考え方を質す。	
具体的な質問 及び 質問の相手	(1) 佐賀市では、平成19年9月に「佐賀市の未来を託す子どもを育むための大人の役割に関する条例」を制定し、市民総参加の子どもの育み運動「子どもへのまなざし運動」を実施している。この運動に対する所感を示せ	町 長 教育長
	(2) 子どもの育みに対する大人の役割を町としてどのように考えているか ア 家庭 イ 地域 ウ 企業等 エ 学校等	町 長 教育長
	(3) 町では、各関係団体において、子どもの育み運動が実施されている。更なる充実のために、子どもの育みに関する条例の制定を考えられないか	町 長